

病態機構領域博士後期課程の履修プロセス例

病態機構領域 授与される学位：博士(病態機構学) Ph.D. in Disease Mechanism

病気の予防、治療に貢献する医科学、医療分野の研究者または高度専門職業人

想定される就職先 企業：医薬品、医療機器、ヘルスケア、臨床開発。公務員：厚生労働省、文部科学省、経済産業省、地方公務員。独立行政法人研究所

製薬企業の探索部門の研究者または高度専門職業人をめざす学生の履修モデル

病態機構領域の専門的知識ならびに他領域の分野との俯瞰的視野に基づいた独創的かつ高度な研究を展開し、博士の学位にふさわしい課題発見-解決能力、実験技術力、プレゼンテーション能力、報告書作成能力を修得し、その成果を国際学会かつ査読付き英語筆頭著者論文として発表し、病態機構領域におけるイノベーション創出に貢献する。

	科目区分	必要単位	1年春	1年秋	2年春	2年秋	3年春	3年秋
博士後期課程 (全領域共通)	共通科目	3	CITI: 責任ある研究行為: 基盤編(e-learning)(1), 海外インターンシップ(1), ライフイノベーションセミナー(1)					
	大学院共通科目(選択必修)	3	応用倫理(1), Research Management Skills(1), English Presentations(1)					
	専門科目(必修)	18	ライフイノベーション博士後期演習I(2) ライフイノベーション博士後期研究I(4)		ライフイノベーション博士後期演習II(2) ライフイノベーション博士後期研究II(4)		ライフイノベーション博士後期演習III(2) ライフイノベーション博士後期研究III(4)	
	計	24以上	6		6		12	
			指導教員決定 (~7月)		中間審査会 達成度評価 (7月)		中間審査会 達成度評価 (7月) 博士論文提出 の可否を審査	博士論文提出 (12月) 最終試験(1月) 学位授与(3月)

創薬開発領域博士後期課程の履修プロセス例

• 創薬開発領域(博士後期課程) 授与される学位 博士(医科学) Ph.D. in Medical Science

革新的医薬品の開発に貢献する創薬分野の研究者または高度専門職業人(博士後期課程修了後)

想定される就職先 企業:医薬品、医療機器、臨床開発、化粧品。公務員:厚生労働省、文部科学省、経済産業省、地方公務員。独立行政法人研究所

製薬企業の探索部門の研究者または高度専門職業人をめざす学生の履修モデル

創薬開発領域の専門的知識ならびに他領域の分野との俯瞰的視野に基づいた独創的かつ高度な研究を展開し、博士の学位にふさわしい課題発見-解決能力、実験技術力、プレゼンテーション能力、報告書作成能力を修得し、その成果を国際学会かつ査読付き英語筆頭著者論文として発表し、創薬開発領域におけるイノベーション創出に貢献する。

	科目区分	必要単位	1年春	1年秋	2年春	2年秋	3年春	3年秋
博士後期課程 (全領域共通)	共通科目	3	CITI: 責任ある研究行為: 基盤編(e-learning)(1), 海外インターンシップ(1)、ライフイノベーションセミナー(1)					
	大学院共通科目(選択必修)	3	応用倫理(1), Research Management Skills(1), English Presentations(1)					
	専門科目(必修)	18	ライフイノベーション博士後期演習I(2) ライフイノベーション博士後期研究I(4)		ライフイノベーション博士後期演習II(2) ライフイノベーション博士後期研究II(4)		ライフイノベーション博士後期演習III(2) ライフイノベーション博士後期研究III(4)	
	計	24以上	6		6		12	
				指導教員決定 (~7月)		中間審査会 達成度評価 (7月)		中間審査会 達成度評価 (7月) 博士論文提出 の可否を審査

食料革新領域博士後期課程の履修プロセス例

• 食料革新領域(博士後期課程) 授与される学位 博士(食料革新学) Ph.D. in Food Innovation

革新的な機能性食品の開発を通じて、人々の健康に貢献する食品科学分野の研究者または高度専門職業人

想定される就職先 企業:食品、医薬品、ヘルスケア、化粧品、化学系・バイオ系。公務員:農林水産省、経済産業省、地方公務員。独立行政法人研究所

食品会社の機能性食品開発部門の研究者または高度専門職業人をめざす学生の履修モデル

食料革新領域の専門的知識ならびに他領域の分野との俯瞰的視野に基づいた独創的かつ高度な研究を展開し、博士の学位にふさわしい課題発見-解決能力、実験技術力、プレゼンテーション能力、報告書作成能力を修得し、その成果を国際学会かつ査読付き英語筆頭著者論文として発表し、食料革新領域におけるイノベーション創出に貢献する。

	科目区分	必要単位	1年春	1年秋	2年春	2年秋	3年春	3年秋
博士後期課程 (全領域共通)	共通科目	3	CITI: 責任ある研究行為: 基盤編(e-learning)(1), 海外インターンシップ(1)、ライフイノベーションセミナー(1)					
	大学院共通科目(選択必修)	3	応用倫理(1), Research Management Skills(1), English Presentations(1)					
	専門科目(必修)	18	ライフイノベーション博士後期演習I(2) ライフイノベーション博士後期研究I(4)		ライフイノベーション博士後期演習II(2) ライフイノベーション博士後期研究II(4)		ライフイノベーション博士後期演習III(2) ライフイノベーション博士後期研究III(4)	
	計	24以上	6		6		12	
				指導教員決定 (~7月)		中間審査会 達成度評価 (7月)		中間審査会 達成度評価 (7月) 博士論文提出 の可否を審査

環境制御領域博士後期課程の履修プロセス例

・ 環境制御領域(博士後期課程)授与される学位 博士(環境制御学) Ph.D. in Environmental Management

革新的な環境資源の開発とその保全、管理を通じて、エネルギー、環境問題の解決に貢献する環境科学分野の研究者または高度専門職業人
 想定される就職先 企業:シンクタンク、エネルギー開発、製造、建設、医薬品。公務員:環境省、農林水産省、経済産業省、地方公務員。独立行政法人研究所

環境コンサルティング会社の研究者または高度専門職業人をめざす学生の履修モデル

環境制御領域の専門的知識ならびに他領域の分野との俯瞰的視野に基づいた独創的かつ高度な研究を展開し、博士の学位にふさわしい課題発見-解決能力、実験技術力、プレゼンテーション能力、報告書作成能力を修得し、その成果を国際学会かつ査読付き英語筆頭著者論文として発表し、環境制御領域におけるイノベーション創出に貢献する。

	科目区分	必要単位	1年春	1年秋	2年春	2年秋	3年春	3年秋
博士後期課程 (全領域共通)	共通科目	3	CITI: 責任ある研究行為: 基盤編(e-learning)(1), 海外インターンシップ(1)、ライフイノベーションセミナー(1)、インターンシップI(1)、インターンシップII(1)					
	大学院共通科目(選択必修)	3	応用倫理(1), Research Management Skills(1), English Presentations(1)					
	専門科目(必修)	18	ライフイノベーション博士後期演習I(2) ライフイノベーション博士後期研究I(4)		ライフイノベーション博士後期演習II(2) ライフイノベーション博士後期研究II(4)		ライフイノベーション博士後期演習III(2) ライフイノベーション博士後期研究III(4)	
	計	24以上	6		6		12	
				指導教員決定 (~7月)		中間審査会 達成度評価 (7月)		中間審査会 達成度評価 (7月) 博士論文提出 の可否を審査